

集団討論について



◆集団討論実施の流れ

- 実施はおよそ 30 分
- 試験官（先生）1 名が進行を仕切り、他の検査官は採点に専念
- 受験生は試験官と他の受験生が見えるように半円形や円形に配置された座席に着く
- 座席にはアルファベットの書かれた札が置かれていて、受験生はそのアルファベットで呼び合う

◆集団討論の流れ

(1) 試験官からの進行説明

- 着席後、試験官が討論の進行や注意事項を説明

(2) 討論テーマの発表

- テーマが書かれた紙が配られるケース
- 黒板に貼られているケース
- 口頭で発表されるケース

(3) 討論の準備時間

○テーマが提示された後に、2～10分が与えられる

※この時間内に、それぞれ自分の考えをまとめる

(4) 集団討論開始

○検査官が司会を行うケース

○立候補や話し合いで受験生が司会を行うケース

■ポイント

(1) コミュニケーション能力

(2) 協調性

(3) 表現力

(4) 思考力

(5) 逆説

(1) 「コミュニケーション能力」

(2) 「協調性」を評価される意見の言い方

「Aさんの意見はとても参考になりました。ただ、私の意見は少し違っていて…」

「Bさんの考えはとてもおもしろいです。ただ、逆に考えると…」

自分よりも先に述べた受験生の意見に反論する場合は、その受験生の意見を尊重する言葉から始めると「協調性」が評価されますし、場の雰囲気も良くなります。逆に自分が言おうと思っていた意見と同じようなことを先に言われてしまった場合はこんなふうにするといいいでしょう。

「Cさんの考えに私も賛成です。付け加えて言うと…」

⇒忘れがちですが「協調性」もポイントです！

他の受験生の意見に耳を傾けず自分の意見ばかりを強調すると、協調性がないと評価されかねません。

他の受験生が意見を発表しているときは、その人の目を見ながらうなずきましょう！

(3)「表現力」を評価される意見の言い方

話し方に強弱、緩急をつけましょう。意見を強調したいときには、「ゆっくり、声を大きく」して伝えましょう。

一本調子の話し方にならないようにあらかじめ練習しておくとうまくできるようになります。

また、同時に少し大げさなくらい身振り手振りでジェスチャーを加えるとさらに効果的です。

(4)「思考力」を評価される意見の言い方

意見を述べたらその根拠をセットで伝えるようにしましょう。

「～だと思います。なぜかと言うと…」

次のように具体例で補足するのもいいでしょう。

「例えばこの間、ニュースで～ということが報じられていましたが、そこでも…」

「例えば、去年アメリカに行ったときに～ということがあって…」

「例えば、部活をしていたときに～というちょっとした事件があって…」

(5)「逆説」その他大勢の受験生から抜け出す意見の言い方

逆説をうまく使うことができれば、その他大勢の受験生に圧倒的な差をつけることができます。

逆説とは「一見事実と反しているように見えても、じつは真理をついた説明」のことです。

さて、いかがでしたでしょうか！都立高校の推薦入試は狭き門です。

失敗を恐れずに大胆に臨んだほうがいい結果に結びつくかもしれません。

ぜひ、「評価される意見の言い方」を試してみてください！！！！

